

中施策評価書

作成日 令和05年 7月 13日

中施策事業名	議会広報広聴事務	部課名	議会事務局・議事課
		作成者	深草 広治

①めざすまちの姿	26 市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい
②大施策	市民にとって必要な情報や行政の取り組みを市民に分かりやすく提供する
③中施策	市民にとって必要な情報を分かりやすく提供する
④中施策事業の対象	市内在住、在勤、在学者及び市議会議員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民に議会の活動内容が伝わっている また、議会にも市民の声が伝わっていて、考える機会となっている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・本会議及び委員会の傍聴に関すること ・議会だよりの原稿及び編集委員会に関する こと ・議会だよりの校正及び配布に関すること ・ホームページに関すること ・議 会放映に関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
本会議、委員会の 傍聴者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	440	440	440	440	440
	実績値	117	93			
単位	人					
議会の情報が十分 に得られていると 思う市民の割合	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	30	31	32	33	34.8
	実績値	28.3	22.7			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額
		令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)		5,408千円	5,666千円	
a	事業費合計	5,408千円	5,666千円	8,361千円
	人件費	人数	0人	0人
		b 金額	0千円	0千円
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		0千円	0千円	
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)		5,408千円	5,666千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		79円	82円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>C</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対する傍聴の自粛を、令和5年3月定例会月議会から解除したが、3月定例会月議会で傍聴者は増えていない。令和2年3月から続けていた傍聴自粛の影響により、議会に興味のある方に傍聴が可能となることが認知されていない、YouTubeによる視聴など議会を見る方法が多様化している可能性がある。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う傍聴の自粛を解除したことによる、傍聴者の動向を注視するとともに、議会だより等で傍聴が再開していることを周知していく必要がある。</p> <p>令和5年度は各地域が抱える問題や市政、議会に対する意見などを聴取する「市民との意見交換会」を開催する予定であり本事業を周知していく。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>評価指標を傍聴者数だけでなく、動画配信等の再生回数など多様な基準で評価をしていく必要がある</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 19日

中施策事業名	行政視察・政務活動事業	部課名	議会事務局・議事課
		作成者	深草 広治

①めざすまちの姿	40 市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
②大施策	まちを良くしていくために情報を収集し、失敗を恐れずチャレンジする
③中施策	常に情報を収集し、学ぶ環境をつくる
④中施策事業の対象	市議会議員
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	議員が本市政策についての提案に資するため、先進事例を調査研究し、一般質問をしている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・政務活動費に関すること ・行政視察の受け入れに関すること ・行政視察及び合同研修会に関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
議員からの施策や 条例提案件数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	10	10	10	10	10
実績値	7	8					
単位	件						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0					
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			703千円	1,415千円	
人 件 費	a 事業費合計		703千円	1,415千円	7,418千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			703千円	1,415千円	
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>			10円	21円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>C</p> <p>先進事例を研究したことを評価することは困難であるため、議員提出議案の数を指標としている。</p> <p>令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、行政視察受入れ及び訪問が限定されたため、先進事例の調査研究は思うように進まず、政策提案に繋がっていない。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>行政視察及び所管事務調査のサポートを行う。</p> <p>政務活動費の適切な執行により調査研究を行う。</p> <p>行政視察の受け入れについて、担当課との連携に努める。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>所管事務調査の目的、効果を研究する。</p> <p>行政視察の受け入れについて、事業担当課との連携、役割分担を図る。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等